第322号
2023年9月20日

せきょうろうニュース

発行 「瀬戸市教職員労働組合」
〒489-0888 瀬戸市原山台3丁目98番地
原山小学校気付 Tel 0561-21-3804
執行委員長 小林 友子
HP http://www.aikyourou.jp/?page_id=231

東郷町24年度から小学校30人学級へ

中日新聞（8／23）によると、東郷町は来年度から小学校の全学年で30人学級を実現するために9月議会定例会に関連条例を提出するとしています。また、中学校の特定の教科で少人数指導を可能にするために、市独自で任期付き教員を採用する方針を明らかにしました。小学校では町費負担の教員が9名、中学校も若干名と報じています。

市町村負担で実施されている国基準を下回る学級編制

令和5年度の国・県基準を下回る学級編制の市町村は以下の通りです。（手元に資料があるもの）

犬山市 小6：35人以下
豊明市 小6：35人以下
東郷町 小6：35人以下
岡崎市 小1：32人以下
豊田市 小1～3：30人以下
豊田市 中1～3：30人以下
知立市 小6：35人程度
みよし市 小6：35人以下
蒲郡市 小6：35人以下
蒲郡市 中2・3：35人以下
新城市 中2・3：35人以下

今年度、瀬戸市で35人学級実施に11名教員必要

令和5年度5月1日現在の児童生徒数で35人学級を実現させるためには11名教員が必要です。

水南小 1名
東山小 1名
西陵小 1名
水無瀬中 1名
南山中 2名
幡山中 1名
品野中 1名
水野中 1名
にじの丘中 2名
犬山市・豊明市・みよし市・蒲郡市東郷町並の少人数学級の早期実現を望みます。

学校が抱える業務を減らし、教務や校務が担任を持つようにすれば可能です。働き方改革と業務の精選や削減、少人数学級実現はつながっているといえます。

定時退校日って？

「月2回以上の教職員定時退校日を、各校の実態に応じ設定します（教育長名の保護者宛のお知らせより）」を受けた保護者から、「定時退校日って何ですか？」と尋ねられました。「残業してはいけない日」と答えると「学校って残業が当たり前なんですね」と。世間の常識とは異なる教職員の働き方（働かせ方）。

勤務時間内ではとても終わらない仕事量をそのままにして、「退校日です」というだけの管理職、教育委員会。

小学校英語、教育DX、個に応じた教育・課題など押し寄せる仕事の増加に対して本当に必要な仕事は何かを考えて行きましょう。（甲斐）

9月瀬戸市議会で

古瀬戸小解体工事費1億4200万円

令和5年度瀬戸市議会9月定例会で、古瀬戸小解体工事の請負について審議されました。市の提案は約1億4200万円でした。

5年市長提出62号議案
旧古瀬戸小学校解体工事請負契約の締結について

1．契約金額	142，326，800円
2．工事場所	瀬戸市古瀬戸町70番外
3．契約方法	制限付き一般競争入札
4．工事内容	東校舎（約2，469㎡） 西校舎（約480㎡） その他建物、付帯設備及び工作物の解体等一式
5．工期	本契約日の翌日から令和6年2月29日まで

※一部省略

すでにマスコミで報道されていますが、朝日インテックスの提案事業は、以下の通りです。

(1) 「朝日インテックラブリッジ名古屋」の練習グラウンドとする。

(2) 事業者の福利厚生施設としてサークル活動や社内イベントに使用する。

(3) (1)及び(2)において利用しない空き時間は一般市民へ貸し出しを行う。

(4) サッカー教室の開催をはじめとしたスポーツ振興や、市のイベントへの参画による各種啓発活動など、活気あるまちづくりに貢献する。

市民・住民が、安心して安全に活用できる施設を期待します。

学校跡地利用について市民・住民の声を反映して！

深川小学校跡地利用について、颯田議員から子育て支援の観点から一般質問がありました。

2年間、地元との協議が成されているようですが、市民に十分公表されているとはいえません。

新しい市長になって、市民参加の風通しの良い行政を行ってもらいたいものです。

学校等の公共施設は市民の財産です。計画実施に市民が積極的に参加できる体制づくりを願います。

夏休みは、研修・充電教材研究できましたか？

働き方改革の推進により、夏休み中は定時退校や計画的年休行使で、ゆとりを持って教材研究等が行えたのではないでしょうか。

一方で、管理や強制が進み、教員としての自主研修が取りづらい状況になっています。

教育は極めて「創造的な仕事」で、教員の「内面の豊かさ」が求められます。与えられた内容を決められたとおり教えるのではなく、常に自己改革が求められます。

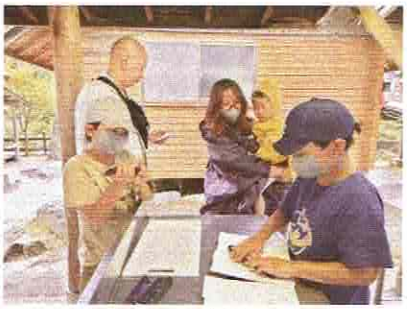
教育費 適応指導推進の項目

10款 教育費
事業名：適応指導推進
主な実施内容

・小中学校心理相談事業	1，632，000円
・小学校心の相談事業	2，110，000円
・学級集団アセスメント調査	6，060，807円
・会計年度任用職員	6，375，432円

※「Q－U」と会計年度職員（人数不明）の費用がほぼ同額です。Q－Uの実施に伴う負担や価値ある活用がなされているでしょうか？教員が児童生徒としっかり向き合う時間の保障と職員の配置が必要では・・・。

２０２３ひまわりキャンプ



マスの調理

8月27日～28日
付知峡

川遊び
調理
提灯散歩・花火
温泉入浴
恵那峡遊覧

自然の中で、思いっきり野外活動を楽しみました。

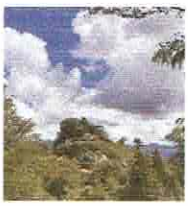
マス釣りを終えて

清流での川遊び

瀬戸こどもと教育9条の会

9月5日（火）
杉原千畝記念館・苗木城跡など

前日に雨が降ったため、「五法の滝」は散策路が危険なため取り止めました。
また、黒川の「乙女の碑」も出発時刻を遅らせたため中止して、ユーチューブで学習しました。



２０２３愛知の教育を考えるつどい

2023年度　愛知の教育を考える集い

『新たな研修制度』と本来の学びの姿

勝野 正章さん
東京大学 教授

「職務命令による研修の受講は、形式的で学習効果の乏しいものにはならないのだろうか。まずこの点において、「新たな教師の学びの姿」は自己矛盾をはらんでいる。」

日時　10月29日（日）13：00～16：30

場所　労働会館 本館
名古屋市熱田区沢下町９－７

参加　無料（定員50名）
どなたでも参加できます。当日受付へ。

第1部　講　演　13:00～14:30
講師：勝野 正章さん

第2部　分科会　14:40～16:30
組合員による実践発表と情報交換

主催：愛知県教職員分会組合執行委員会（愛教労）
E-mail：[illegible]
URL：[illegible]
※「愛教労」で検索

◎第１分科会（子どもの視点から）
▷中学校　国語科の現状と課題
▷コロナとマスクと子どもの思い
◎第２分科会（障害児教育）
▷組合員による実践発表と報告
▷その他実践交流やお悩み相談
◎第３分科会（異文化と多様性）
▷同時翻訳システムを使用した日韓国際共同授業の取り組み
▷多様性の性を考えて

講師　勝野 正章さんのご紹介
1959年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程・教育政策学。
著書に「教育行政と教育経営」（共著、放送大学教育振興会）、「校則、授業を変える生徒たち　開かれた学びづくりの実践と検証」（分担、高文研）など。

教員の働き方改革

電話および定時退校日の通知があったが・・

瀬戸市教育委員会教育長名で、9月11日に「電話および定時退校日について（お知らせ）」が保護者に通知されました。

「教育委員会としては教職員が業務負担の軽減を図り、一人一人が心身ともに健康を保ち、やりがいをもって職務に従事することができる環境作り」、「教職員が健康でやりがいを持って働く環境を整え、児童生徒と向き合う時間の確保に努めるとしています。定時退校を勧めても、具体的な手だてはなしでは持ち帰り残業が増えるばかりです。教員の持ち時間数を減らす、教育課程の大幅削減、教育委員会等への提出書類減、教職員の員数を増やすなど具体的な対策を行政は、はっきりと打ち出すべきです。

業務削減でこそ、ゆとりが

授業カットで対応の場合、小学校低学年担任には利点がないので、短縮授業にしたら・・持ち帰りをなくしたい。

定時退校日を各自が選択し、その日は1時間の空き時間をつくり、学級業務などをして早く帰宅できるようにする。

コロナ禍での行事削減が復活し、出張が多くて先生が足りない状況を何とかして欲しい。

教える内容が多すぎる。教材研究や準備の時間が欲しい。

子どもたちと向き合う時間、ゆとりを持って授業をしたい。

※定時退校に関してご意見をお寄せ下さい。